

# 栃木県における子どもの読書活動の推進について

栃木県教育委員会事務局  
生涯学習課



# 栃木県子どもの読書活動推進計画(第三期)

平成26年3月策定(計画期間:平成26年度~30年度)

## 【基本方針】

- 1 家庭・地域・学校等の連携・協力による読書活動の推進
- 2 **子どもの発達の段階に応じた取組の推進**
- 3 子どもの読書活動の推進に関する理解の促進

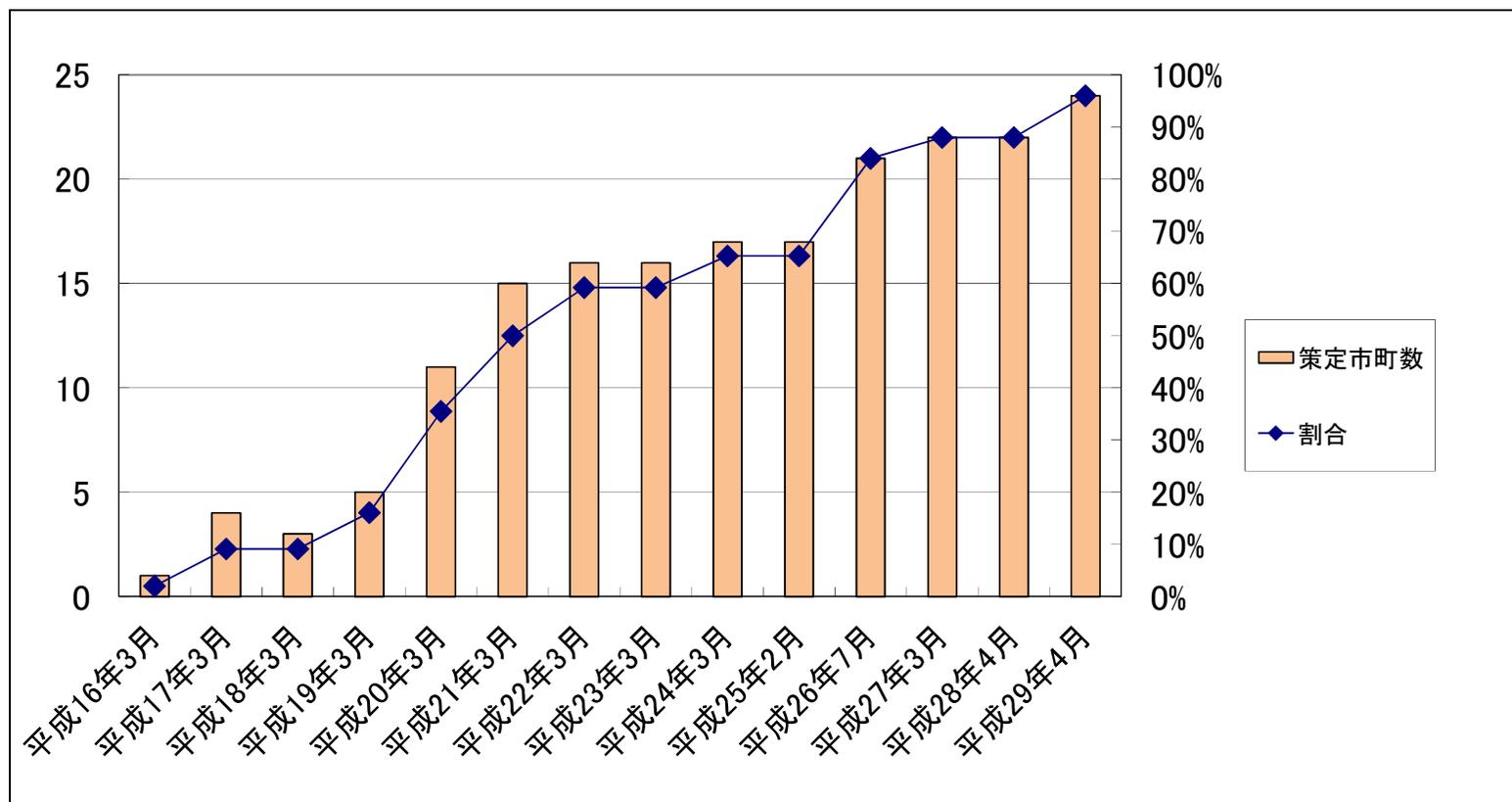
## 【指標】(H30目標)

- 1 子どもの読書活動推進計画策定市町の割合  
⇒100%
- 2 1か月に本をほとんど読まない児童・生徒の割合(不読率)  
⇒小学生:8%以下 中学生:18%以下 高校生45%以下

# 指標の推移①

## 「市町村子どもの読書活動推進計画」策定市町村数とその割合

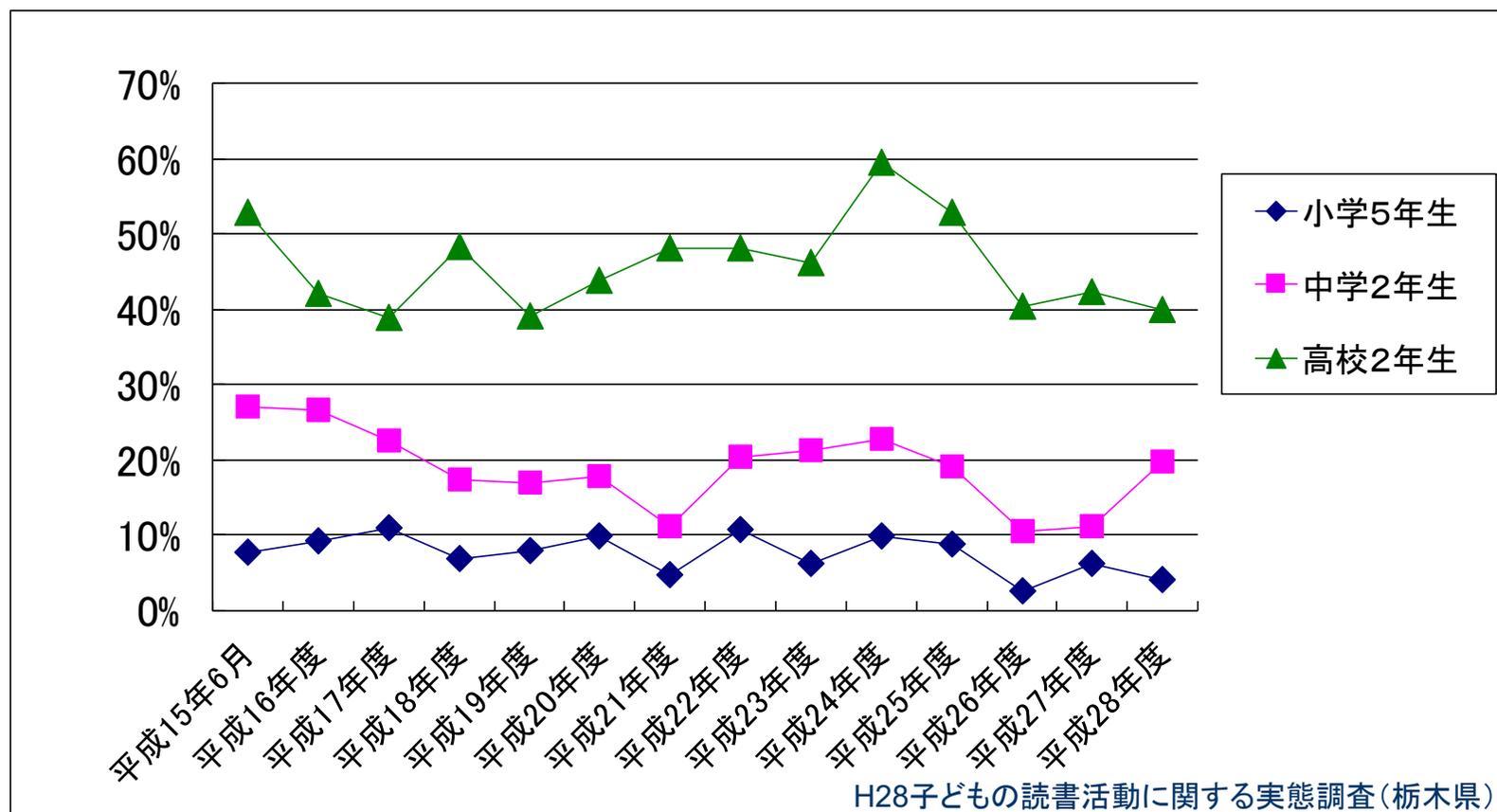
### ◎24／25市町村策定済(96%)



## 指標の推移②

1か月間の平均読書量(まんがや雑誌を除く):  
「ほとんど読まない」と回答した児童・生徒の割合(不読率)

◎小:4.1% 中:19.8% 高:39.9% (H29.1調査)



# 平成29年度 子どもの読書活動推進事業（予算額:千円）



- |                        |       |
|------------------------|-------|
| 1 栃木県子どもの読書活動推進協議会     | (187) |
| 2 読書活動推進のネットワークづくり     |       |
| ①市町・学校等子どもの読書活動推進担当者会議 | (25)  |
| ②読書ボランティア等活動交流会        | (44)  |
| 3 読書ボランティア指導者養成        | (249) |
| 4 児童サービス研修会            | (36)  |
| 5 家庭における読書活動の推進        | (510) |
| 啓発資料・フォーラム・図書セット貸出     |       |
| 6 高校生読書活動推進事業          | (936) |

総額1,987千円

## 2 読書活動推進のネットワークづくり

### ①市町・学校等子ども読書活動推進担当者会議

●市町へ計画の普及を図るとともに、「市町子ども読書活動推進計画」の策定を促し、市町や学校における推進体制の整備や具体的な事業、啓発・広報等についての情報交換や協議を行う。

- ・開催時期 7月開催
- ・内容 事例発表、グループ協議



H29の様子(事例発表)

## 2 読書活動推進のネットワークづくり

### ②読書ボランティア等活動交流会

●各地域で活動する読書ボランティア等が、情報交換や活動する上での課題を共有する機会を設けることで、読書ボランティアのネットワークの構築・拡大と活動のより一層の充実を目指す。

- ・開催時期 11月開催
- ・内容 活動に役立つ講演、事例発表、交流会



H28の様子(講演・事例発表)

## 6 高校生読書活動推進事業

- 開始時期：三期計画と合わせて、平成26年度から開始。
- 目的：高校生の自主的・自発的な読書活動の推進を目指す。
- 事業概要：高校生の中から読書活動推進リーダー「読書コンシェルジュ」を育成し、同世代に働きかけを行う。

<具体的には>

- ①読書コンシェルジュ育成事業
- ②高校生読書ふれあい交流事業
- ③読書コンシェルジュおすすすめ本普及・啓発事業

## 6 高校生読書活動推進事業

### ①読書コンシェルジュ育成事業

● 高校生の読書活動推進リーダーを育成し、高校生の自主的・自発的な読書活動の推進を図る。

- ・対象：県内在学の高校生世代の方
- ・募集期間：5～6月
- ・育成研修：7～8月（3日間）
- ・活動交流会：1月 ※H29新規

※研修修了者を読書コンシェルジュに任命し、8～10月に企画会議（3日間）を実施。経験者の希望者も参加。

# 育成研修・企画会議の様子



<育成研修>



<企画会議>



<任命式>

## 6 高校生読書活動推進事業

### ②高校生読書ふれあい交流事業

- 読書コンシェルジュの企画を取り入れた高校生読書交流会を開催する。

(2回開催予定、11月、12月) ※過去3年間は3回開催

- ・11月は地区交流会として、足利市立図書館で開催。
- ・12月は県央交流会として、「全国高等学校ビブリオバトル2017 栃木県大会」を兼ねてして開催。
- ・読書コンシェルジュが運営の担い手となる。

# 高校生読書交流会（H28の様子）



<しおりづくり>



<おすすめ本発表>



<ブース展示>

# 高校生読書交流会(H28県央) 全国高等学校ビブリオバトル2016栃木県大会



<決勝戦発表>



<コンシェルジュによる運営>



<投票>

## 6 高校生読書活動推進事業

### ③読書コンシェルジュおすすめ本普及・啓発事業

- 読書コンシェルジュが選定したおすすめ本の普及、セット図書の利用促進により、読書活動の推進を図る。
- ・啓発資料「読書コンシェルジュが選ぶ高校生におすすめの本30冊」作成・配布（H26～H28）
- ・読書コンシェルジュおすすめ本図書セット貸出

# リーフレット

## 「読書コンシェルジュが選ぶ高校生に

## おすすめの本30冊」



- ・平成26年度:30タイトル(計56冊)
- ・平成27年度:30タイトル(計34冊)
- ・平成28年度:30タイトル(計40冊)
- ・掲載図書のセット貸出を実施

(県立図書館)



## 6 高校生読書活動推進事業 読書コンシェルジュによる学校・地域での活動事例

### (例) 県立鹿沼高校

学校図書館のディスプレイ変更、  
資料の展示、おすすめ本の紹介 等  
・H27貸出冊数1.5倍(H26比)

#### ◇H28読書コンシェルジュの活動アンケートより

##### 〔学校で〕

- ・図書委員会とおすすめ本フローチャートを作成した。
- ・日ごろ、読書をしない人でも気軽に立ち寄りやすいように、学校の図書館を飾り付けした。
- ・積極的に自分の好きな本をすすめたり、学校でビブリオバトルを開催したりした。
- ・中学生に向けた読書講座に参加した。



#### <資料展示の様子>

##### 〔地域で〕

- ・真岡市内の図書館でのビブリオ大会参加した。

\* 他に、図書館を拠点とするビブリオバトル団体に参加したなどの例もある。

## 6 高校生読書活動推進事業 期待される効果

### ●活動に参加した高校生への効果

- ・読書を媒介してのコミュニケーション力、情報発信力の向上。

### ●同世代への働きかけによる効果

- ・不読率の改善。
- ・子どもたちの豊かな心の育成。

### ◇H28読書コンシェルジュの活動アンケートより

- ・人と意見を交換する際に、積極的に自分の意見を相手に伝えることができるようになった。
- ・本の良さを他人に積極的に伝えることができるようになった。
- ・友人から話題の本について尋ねられるようになった。

## 6 高校生読書活動推進事業 課題と展望

- 学校、地域での主体的な活動展開
  - ⇒ 学校や関係機関等との連携による、活動機会の確保。
  - ⇒ 読書コンシェルジュの主体的な活動を促すための研修プログラムの改善。
- 計画終期に向けての事業評価
  - ⇒ 指標による評価。
  - ⇒ 学校や地域での活動状況の把握。